

日光会令和4年度事業計画

<令和3年度を振り返って>

令和3年度はコロナによるご利用者の利用控えが前年同様に続き、厳しい経営環境であった、

老健については強化型に転換を図ったが、入所稼働率が低下したことで対前年より収入が減少。通所デイケアについても6日間全面休園にしたこともあり計画より収入減少となった。

令和2年2月にオープンした新規事業である保育園については順調に園児が増加し、ほぼ定員いっぱいの収入が得られるようになり、また9月からは病後児保育も開始した。

保育園の運営が軌道に乗ったこともあり、全体での収益は前年度より改善となった。

経費面では人件費が徐々に増加しており、今後も採用環境を考慮すれば、増加傾向が続くものと思われる。

将来の介護職員採用が困難になることを見据え、技能実習生としてミャンマー女性を受け入れているが、能力的にも問題なくご利用者にもスムーズに受け入れていただけており、今後についても受け入れを進めて行くものです。

<令和4年度の課題>

コロナ収束の状況により収入が大きく変わって来るところから、業況の見込が非常に立てにくい状況にある。収入が減少してもそれに伴い減少する経費はわずかであり、当面厳しい状況が続くことが予想される。

令和4年度についての大きな課題は、入所の稼働率の回復が急務となる。

保育所については定員に対し、ほぼ満額の収入が得られる状況になっており、園児入れ替わり時を管理し、今の状況を維持していくことが重要となる。

経費面では、適正な人員の見直し、職員の定着率を高めることによる人材紹介料の削減等人件費の抑制に努めるとともに、常に業務に無駄が無いかきめ細かく見直しを行なって行くものとする。

常勤職員の比率が高く、パート職員の効率的な活用についても進めて行く必要がある。

なお、保育園ビルの3階・4階部分の活用については、具体的に検討を進め、新しい事業をスタートさせたい。

<ご利用者の満足度を高めるために>

令和3年度は2年度と同様にコロナの影響で、各種イベントの自粛や縮小、面会制限など大変ご不便をおかけした。

ご利用者の満足度の充実は常に意識しているところであるが、このような環境のなかでも工夫をかさねることで、より充実した生活を送っていただけるように、努力しなければならない。

真心からのおもてなしを感じていただけるように、理念研修等を通じて職員の質の向上を図るべく力を注いで行きたい。

<令和4年度収支予算計数>

収 入	586,300,000 円
費 用	553,930,000 円
サービス活動外収支	-1,799,000 円
収支差額	30,571,000 円

※コロナの状況により、適時事業計画については見直しを行うものとする。